会　　議　　録

<table>
<tr><td colspan="2">会　議　の　名　称</td><td colspan="4">平成２８年度第１回小川町地域公共交通活性化協議会</td></tr>
<tr><td colspan="2">開　催　日　時</td><td colspan="4">平成２８年４月２１日（木）
開会時刻　午前１０時　　閉会時刻　午後１１時３５分</td></tr>
<tr><td colspan="2">開　催　場　所</td><td colspan="4">リリックおがわ　２階会議室</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="11">出　席　者</td><td>役職名</td><td>氏名</td><td>役職名</td><td>氏名</td></tr>
<tr><td>会長</td><td>尾崎　晴男</td><td>副会長</td><td>大山　澄男</td></tr>
<tr><td>監査委員</td><td>山岸　幸男</td><td>監査委員</td><td>小久保　文雄</td></tr>
<tr><td>委員</td><td>山﨑　浩司</td><td>委員</td><td>古屋　仁</td></tr>
<tr><td>委員</td><td>能勢　一幸</td><td>委員</td><td>山口　典夫</td></tr>
<tr><td>委員</td><td>高橋　貴和</td><td>委員</td><td>大山　博(代理)</td></tr>
<tr><td>委員</td><td>福田　聡(代理)</td><td>委員</td><td>堀米　康史</td></tr>
<tr><td>委員</td><td>田端　健二</td><td>委員</td><td>柳田　祐之</td></tr>
<tr><td>委員</td><td>山口　勝士</td><td>委員</td><td>小澤　禄郎</td></tr>
<tr><td>委員</td><td>村上　紀子</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">会　議　の　議　題</td><td colspan="4">(1)　平成２７年度事業報告について

(2)　平成２７年度収入支出決算報告について
　　監査報告

(3)　平成２８年度事業計画（案）について

(4)　平成２８年度収支予算（案）について

(5)　再編実施計画策定業務委託事業者について</td></tr>
<tr><td colspan="2">会議の公開又は非公開の別</td><td colspan="4">公開</td></tr>
<tr><td colspan="2">会議の非公開の理由</td><td colspan="4">―</td></tr>
<tr><td colspan="2">傍　聴　人　の　数</td><td colspan="4">２０人</td></tr>
<tr><td colspan="2">発　言　の　内　容</td><td colspan="4">別紙「発言の要旨」のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="2">会　議　資　料</td><td colspan="4">別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="2">事　務　局</td><td colspan="4">都市政策課　都市政策担当</td></tr>
<tr><td rowspan="2">議事の確定</td><td>確定年月日</td><td colspan="4">平成　２８　年　５　月　２３　日</td></tr>
<tr><td>記名押印</td><td colspan="4">役職名　会長
尾崎　晴男　　㊞</td></tr>
</table>

別　紙

発言者	発言の要旨
尾崎会長	本日は平成 28 年度第 1 回目の協議会ということで、昨年度の報告及び今年度の計画についてお諮りする目的での開催となっている。皆様どうぞよろしくお願いいたします。
事務局	本協議会は原則公開としており、傍聴者の定員を 25 名として所定の方法で協議会開催の事前公表を行ったところ、本日は 20 名の傍聴希望者がいらっしゃっている。会長の許可を頂き、入室させたいと思うがよろしいか。
尾崎会長	本日初めて参加される委員の方もいらっしゃると思うが、本協議会は住民の方に大きな関心を持って頂いている。全員の方に入室頂くこととしてよろしいか。
一同	承認。
	(1)　平成２７年度事業報告について **(2)　平成２７年度収入支出決算報告について**
山岸委員	**監査報告** (1)～(2)について、原案のとおり承認。
	(3)　平成２８年度事業計画（案）について **(4)　平成２８年度収支予算（案）について**
尾崎会長	ただ今事務局から説明頂いた内容について、ご意見を頂きたい。
能勢委員	平成 28 年度収支予算（案）の支出、総務費の事務費について伺いたい。平成 27 年度の当初予算額 46,000 円に対し、新年度当初予算額は 30,000 円となっている。【資料 2】の平成 27 年度の決算書によると当初予算額よりも支出済額が上回っていた中で、新年度予算額の事務費を減額して問題はないか。
事務局	昨年度より本協議会を立ち上げた中で、当初会長印等の事務経費があった。今年度にはその支出は見込まれないため、事務費は減額した予算を組んでいる。
尾崎会長	この協議会で予算を持っているため、昨年度は会長印等を揃える必要があった。今後も引き続き使用していく物なので、事務費を減額しても問題ないと認識している。
山口委員	全体の事業計画の中で、本日の参考資料としてアンケート（意向調査）が配られている。5 月・6 月に町民説明会の開催とあるが、アンケート調査と同時進行となるのか確認したい。
事務局	【資料 3】の事業計画（案）の中で示している町民説明会開催については、5 月中旬から 6 月にかけて実施を予定している。こちらについては、5. その他において詳しく説明をさせて頂く予定であるが、現在小川町には 76 の行政区が存在している。そのすべてを 1 か所ずつ回るのは時間的な観点からも難しいため、近い行政区をまとめての説明会を予定している。内容としては、まず昨年度策定した形成計画についての説明と、併せて今年度実施予定のデマンド型交通の導入に向けての意向調査を説明会と同時に実施することを考えている。アンケートについても説明会の会場でお配りをし、来て頂いた方にその場で回答して頂くことを想定している。

別　紙

尾崎会長	76 の行政区を 20 か所に分けて、説明会を実施するということである。
山岸委員	町民説明会を 20 か所で開催するということであるが、一か所につき何名くらいの方にアンケートを取ること想定しているのか。
事務局	参加人数については地区によって人口等の差があり、何名とはお答えできないが、なるべく多くの方にご参加頂き、アンケートの回答を頂きたいと考えている。また、各行政区長様並びに役員の方にもご協力を頂ければ、説明会に来られなかった方にも後日アンケートを配布し、回収できればと考えている。
山岸委員	八和田公民館は 10 か所の行政区、他の会場では 1 行政区でやるところもあるため、かなり参加者の人数のバラつきがあるかと思う。例えばこのアンケートを各区長に依頼し、回覧板で全戸にお配りし、回収した方がより多くの意見が取り込めるのではないか。
事務局	区長会長である山岸委員から、有難いお言葉を頂いたと感じている。4 月 25 日の新行政区長会の場において、この町民説明会開催の周知をさせて頂く予定である。各区長様のご協力が得られるのであれば、山岸委員からご提案があった方式で実施をさせて頂きたいと思う。
山口委員	前回の網計画ができる段階でも発言させて頂いたが、小川町にとってはデマンドの実証を将来への持続可能な内容にするという大きな柱と、既存のバス路線をどのように維持していくかというもう一つの柱について確認させて頂いた。今年度の事業計画として、主に住民の要望の高いデマンド型交通を、どのように組み立てるかが重要だということは理解できる。しかし、もう一方でバス路線の維持・利用についても真剣に考えていかないと、後手に回ってしまうのではないか。どうしても住民の方の要望はデマンドにあると思うので、町民説明会でも多くの意見が出ることが予想される。しかし一方では、バスをどのように大切にしていこうかという観点からも意見を頂かないといけないと思う。バスを大切に維持していくという趣旨が、住民の方に理解されないまま進んでしまうのではないかと懸念される。この観点についてもぜひお願いしたい。
事務局	町民説明会の中では、質疑応答・意見交換の時間を長くとりたいと考えている。この中で、デマンド型交通についてのご意見もお伺いする予定である。また、既存の公共交通（鉄道、路線バス、タクシー）の活用等についても、テーマを掲げてご意見を頂きたいと考えている。その意見を協議会や関係事業者様にお示し、今後の望ましい公共交通のあり方を検討していきたいと考えている。
尾崎会長	山口委員から重要なご指摘を頂いた。網形成計画の説明の中で、現在の公共交通を維持するためには、努力が必要だということを強調しなくてはならないということである。
田端委員	町民説明会について 20 か所行うとあるが、実際に結構な時間と労力がかかると思う。この説明会の日程及び町民への周知方法はどのようにするのか。また、アンケートは全戸配布を考えているのか確認したい。
事務局	説明会の日程及び会場については、行政区長様にご連絡をさせて頂き調整を行っているところである。周知については、5 月号の回覧でお知らせをする。アンケートは説明会に来て頂いた方を対象にと考えていたが、区長会終了後に全戸配布について検討していきたい。

別　紙

田端委員	回覧で説明会の周知をするということですが、目立つものでないと町民の方には見てもらえないと感じる。できれば目立つ回覧でお願いしたい。
山岸委員	回覧は月初に来るものが非常に多いため、特に見てもらいたいものは時間差で回すという工夫をしている。そういうことも、回覧を見てもらえる一つの方法ではないかと感じている。
尾崎会長	それでは、議事（3）及び議事（4）ついて皆様にご承認頂くということでよろしいか。
一　同	(3)～(4)について、原案のとおり承認。
	(5)　再編実施計画策定業務委託事業者について
一　同	原案のとおり承認。
	※　その他
事務局	～　町民説明会開催の概要及び意向調査の概要についての説明　～
山岸委員	アンケート調査の用紙を見て、全戸配布の必要性を改めて感じた。両面印刷になっているが、後ろに写らないように紙質にも配慮して頂きたいと思う。
柳田委員	このアンケート調査を実施する目的は、デマンド型交通に対しての意識を把握することにあると思うが、実際に利用するにあたっての目的地や用途を伺うことが重要ではないか。この部分が把握できないと、デマンド型交通のあり方がずれてしまうような気がする。
事務局	デマンド型交通に特化しての目的地の把握というのは重要だと思うので、設問に加えたいと思う。
山﨑委員	将来の維持運営のために、運賃体系についても意向を確認できればと思う。
尾崎会長	どこまでアンケートに盛り込むのかが難しいところであるが、事務局としてはどう考えているか。
事務局	運賃についての意向把握は、実証実験の中で利用者に対してのアンケートを実施したいと考えている。既存の公共交通機関や、福祉有償運送の利用に関しても費用負担を頂いている中で、どのようなデマンド型交通にしていくのかということを協議して頂きたい。そのため、現段階での運賃に対する意向把握は時期尚早と感じている。
尾崎会長	デマンド型のサービスを実施するにあたり、その内容と料金の設定というのは非常に悩ましい部分である。
山岸委員	実際に運行をしてもらうタクシー会社さんに実証実験委託費用の試算等はして頂いているのか。実験してみたら想定より高額だったというようなことを防ぐためには、予算のこともあるので今から進めた方が良いと思う。
事務局	先進自治体の事例等も参考にさせて頂き、次回以降の協議会でお示しできればと考えている。
大山副会長	住民説明会に付随したアンケート調査であればこの内容で問題ないと思うが、全戸配布となると内容の精査が必要であると感じる。デマンド型交通に馴染みがない方も多いと思うので、この点に関しても説明をした方が良い。

別　紙

堀米委員	アンケート調査に関して目的地や用途、時間、距離など具体的なことを把握する必要があると思う。また、導入にあたり運賃にしても利用者の方がいくらくらいのものを想定しているのかについても設問に入れておく方が良いと思う。実証運行の中で意識変容調査を行うとのことだが、その部分にも関連するため精査をしながら具体的な計画を立てる必要がある。
能勢委員	アンケートの問 9・問 10 に関して、町民の方のデマンド型交通に関する許容範囲を伺う部分だと思う。問 9「乗り場が自宅からどのくらいの距離にあれば、利用しますか。」という情報だけになると、より便利な「自宅前」を回答するのが当然だと思う。問 10「事前予約が必要な場合、いつまでの予約なら利用しますか。」に対しても、「当日利用の 1 時間前まで」の回答になると思う。例えば、問 9 であれば乗降ポイントが少ない方が費用が抑えられるとか、問 10 であれば前日までの予約の方が費用がかからないとか町でかける費用と、自分たちの許容範囲とを示さなければならないと感じる。
尾崎会長	皆様にご提案させて頂きたいがよろしいか。全戸配布にあたっては、より具体的なことを聞いた方がいいというご指摘が多かった。このアンケートは説明会に際し、意向を伺うために実施することを想定して作成したものだと思う。 皆様の意見を元に内容を精査し、ご確認頂いてこの 5 月 6 月にに全戸配布するというのは時間的にかなり厳しく、事務局にとって酷ではないかという気がしている。説明会に来て頂いた方には、事務局から提案のあったアンケート調査を実施し、全戸配布については、また別にもう一回実施するという方向で検討するのはいかがか。
山口委員	説明会とアンケート調査を同時進行で行うのかという質問を一番最初にさせて頂いたが、正直厳しいのではないかと感じていた。昨年からも意見が出されていたトリガーというある一定の基準を設定していくことは、持続可能なという部分に繋がる重要な点であり、町民の意向把握はこの設定に関わるとても重要なことだと思う。委員の方から多くの意見が出されたことを受け、方向転換を考えてみるが良いと思う。
高橋委員	今日は新年度第 1 回目の協議会ということで、これからスタートしていくのだと認識している。最初は住民の方が考えている漠然とした意思を、ある程度把握する必要があると思う。進めていく中で、今後再びアンケート等の必要性が出てきた際には、流動的に良い方向にシフトしていければよいのではないか。
尾崎会長	委員の皆様に活発なご協議を頂いた。5 月中旬から実施する説明会でのアンケート調査は、デマンドに関する基本的な事項を伺うこととし、全戸配布のアンケートについては内容を整理し、委員の皆様にご確認頂いてからの実施とさせて頂くということでよろしいか。
一　同	承認。
尾崎会長	それでは、本日の議事は全て終了させて頂く。
事務局	最後に報告事項がある。次回の協議会は 7 月上旬の開催を予定している。日程等詳細が決まり次第、皆様にご連絡させて頂く。
尾崎会長	それでは、本日の協議会はこれで散会とさせて頂く。 以上